

荻窪温泉あいのやまの湯が営業を再開します

本市所有で指定管理施設である荻窪温泉あいのやまの湯の営業を再開します。同施設は、5月16日からレジオネラ属菌が検出されたことに伴い、営業を自粛。施設の改修工事などを進めてきました。この改修工事が完了し、水質検査の結果からも利用者の安全が確認できました。

- 1 営業再開日 11月12日（月）午前10時から通常営業を再開
- 2 今後の対応 当面の間は、レジオネラ属菌に係る水質検査の頻度を増やし、衛生状態の確認を行います
- 3 レジオネラ属菌検出の要因と改修内容
 - (1) 源泉サブタンクの撤去
源泉サブタンクにおいてレジオネラ属菌が検出されたことに伴い、リスクポイントを減らすため、当該タンクを撤去。源泉タンクへ直送する方式にしました。
 - (2) 残置配管撤去（源泉タンク周辺・バルブ室・地下機械室）
源泉タンク周辺やバルブ室、地下機械室では、開業後に実施された施設の部分改修などによって不要な配管が残っており、湯の滞留による菌の増殖が懸念。これらの配管を撤去し、リスクポイントを減らしました。
 - (3) 源泉供給ライン分岐による経路短縮（個室への直送ライン設置）
個室へ源泉を供給する場合に、従来は地下の機械室を経由するルートとなっており、配管経路が長く複雑でした。菌の増殖が懸念されたことから、地下の機械室を経由しない直送ラインを設置しました。
 - (4) 内湯タイル張替工事・露天風呂目地補修
タイルの破損箇所や目地の磨耗、湯口の腐食劣化がみられ、菌の増殖が懸念されたことから、内湯のタイルの張替え、湯口の改修、露天風呂の目地補修を実施。菌が増殖しやすい環境を改善しました。
 - (5) 連通管自動排水装置・洗浄補助器具の設置
内湯の大・小浴槽を繋ぐ連通管で湯が滞留することから、簡易に換水・洗浄ができるよう自動排水装置及び高圧洗浄用の補助器具を導入。日常管理を強化するため改修しました。

(6) 各所排泥弁の設置

配管の端部など湯が滞留する部分に排泥弁を設置。滞留が生じないように適宜排水するなど日常管理を強化するため改修しました。

(7) ろ過器のろ材交換

ろ過器からレジオネラ属菌が検出されていたことから、ろ過器4台のろ材を交換しました。

4 特記事項

【営業時間】 午前10時～午後9時

【休館日】 毎月第1・3火曜日

※都合により変更になる場合があります

【入館料】 大人 510円

小人 300円 ※3歳以上～小学生以下

高齢者 300円 ※65歳以上

障害者 300円 ※障害者手帳を持っている人

本件に関するお問い合わせ先

【施設改修に関すること】公園管理事務所

電話 内線 / 6090

直通 / 027-225-2116

【営業に関すること】荻窪温泉あいのやまの湯

電話 027-264-3030